



# COSSE 亀田

住所：亀田 1-11-14 NO6 2016.12.26

いつまでも、この地域で自分らしく

☎・FAX： 024-953-6833

発行＊ 石井 うた（医療生協桑野支部）

年越しを目前に焼け出された人たち、新潟の糸魚川の大火は強風にあおられても燃え広がったことでした。この亀田の地域も風は強く、他人事ではない。初期の消火態勢を住民の力でできるように、お互いに協力していかないとと思いました。

新しい年度が始まると喜んではいられない状況ですが改めて振り返ってみたいと思います。

9月から4カ月 Cosse 亀田をはじめていろいろな出会いがありました。食を通して近所の方のたまり場となり週1回（12人程度）食べながらの交流が皆さんの楽しみになってくれているでしょうか。

サークルでは「刺し子」で花ふきん教室をTさんの協力で定例化ができました。シンプルな針目が美しいです。十字つなぎや千鳥つなぎ・七宝つなぎなどを教えていただきます。

12月から語り部「やまんばの会」の方が来てくださります。方言で郷土の昔話をそれぞれの方がお話しします。ぜひお子さんや若い方もききにきてほしいと思います。

映画鑑賞はピースシアターとして社会派が多かったのも、笑いのあるものをとの要望がありました。

西部包括支援センターが行っている「ぼたんの会」（原発被災者の方）月1回利用しています。被災した方々の安否や生活のことなどおしゃべりをしながら元気になって帰ります。

郡山医療生協桑野支部の活動は、健診活動や健康づくりチャレンジなど「地域まるごと健康づくり」を子どもから高齢者まで対象としてしています。

自分らしく最期まで住み慣れた地域で暮らしていけるような活動、地域の方が元気になるような活動を皆さんと一緒に計画できるようにしていきたいと思います。これからもみなさんの居場所として利用できるようにしていきますので、気軽においでください。お待ちしております。

◇ 1月の予定表を裏面に掲載していますので参照してください。

▽ 11月の利用者は107人（食事会47人）

※12月20日の食事会は吉川さんの「新そばを食す」と企画しました。福井と会津のそば粉をブレンドしたそばでした。海老と野菜天・そばハット・そばがきとフルコースでした。三穂田町からガスボンベ持参でそばをゆでていただき美味しいそばをいただきました。参加人数は22人で盛況でした。

## つれづれ

- 比較的に元気な高齢者が地域とともに生きていく。キーワードは“自立と共生”自分たちで決めて運営するグループリビング。医療機関などと連携して最期まで自室迎えることが希望です。人生の締めくくりどんな生き方を選びますか？
- 2017年は憲法ができて70年目です。そのときの何を思いましたか？まじめに働き暮らしてきた、将来に不安もち、政治に疑問を感じている。変えていきたいが受け皿がないとあきらめていないですか。憲法は身近にあると思います。何をどう改憲をしようとしているのでしょうか安倍政権は。

